

<b>組織現勢 (11月1日現在)</b>	
組合員数	24,074 世帯
出資口数	81,092 口
10月の新規加入	213 世帯
10月の増資口数	1,056 口

**R100** 古紙配合率 100% 再生紙  
を使用しています。

# 城南の保健

発行所  
**城南保健生活協同組合**  
本部事務局 大田区大森中1-22-1 2階  
TEL (3762) 0266  
振込銀行 さわか信用金庫大森支店  
口座 (普) 0469459  
発行 「城南の保健」編集委員会  
毎月1回発行・定価1部 30円

**第23回大田・品川健康まつり 福引き当選番号**

特等 (高級自転車 1本)	0960			
1等 (多機能体組成計 1本)	2018			
2等 (血压計 2本)	6011	9268		
3等 (ズワイガニ 3本)	1676	7494	8226	
4等 (米・味噌セット 5本)	0372	1596	2190	7106
	7196			
5等 (ルーブル 15本)	1275	1640	1995	2381
	3055	3621	3712	3985
	5993	6252	7195	8050
	9039	9305	9308	
6等 (歩数計 20本)	0956	1131	1366	1397
	1624	1651	2075	3150
	3398	3654	3867	4561
	5058	6805	7252	7380
	7870	7947	8495	9129
7等 (ハブラシまたはストラップまたはマグネット 下1桁)	3	9		

7等の景品の引き換えは、保健生協の事業所か、各診療所、訪問看護ステーションで！

## 第23回 大田・品川 健康まつりに3500人

エイサー、手話ダンス、人間の鎖、よっちょれ、合唱、フラダンス、産直販売、健康スタンプラリーなど、健康について考える1日になりました。



### 第23回大田・品川健康まつりのお礼

10月28日(日)に行われた第23回大田・品川健康まつりは、約3500人の参加で、大成功をおさめることができました。ご参加いただいたみなさんに心より感謝申し上げます。

前日の悪天候が嘘のように天候にも恵まれ、予定通りに進行することができました。中央舞台では、東京労音の大鼓、ヘルパーステーションすずらん職員の「よっちょれ」と「フラダンス」、荏原製作所労組の「エイサー」、大田区内の小中学生(チーム幻)による南中ソーラン、補助天協会の「聴導犬デモンストレーション」、南部合唱団のうたごえ、みんなで踊った「生協音頭」、今年初出演の南部生協有志のみなさんの「手話ダンス」、各団体からの訴えなど、「平和でこそ」の思いをひとつにして、多くのおみなさんに楽しんでいただくことができました。また、昨年はあとちょっとでつながらなかった「人間の鎖」は今年はみごとにつながり、会場が一体感に包まれ感動的なまつりとなりました。

模擬店は、東东南部生協の出店もあり、51の出店となり大盛況となりました。また、各相談コーナーや、健康スタンプラリーコーナーにも多くの方が訪れて盛況でした。毎年大行列のできる新大田建設による包丁とぎ、まな板削りなども大好評でした。

今回の健康まつりを機会に、各団体の連携をさらに強め、さまざまな運動で連携していければと思います。

第23回大田・品川健康まつりへのご参加、ご協力本当にありがとうございました。

2007年10月29日  
実行委員長 権守光夫



聴導犬のデモンストレーション

すずらんのフラダンス

すずらんのよっちょれ

みんなでやった生協音頭

新大田建設の包丁とぎには長い列が

東京労音による大鼓

### 腹八分

風呂の恋しい季節です。街の銭湯には根づよい人気があります。夕暮れに銭湯に出かけるのは、一日の仕事の済ませて一杯飲屋に寄るときに似た気分があります。近所の人たちの交わりにはくつろぎがあり、いくらでも気持ち満ちたさました。そういえばかつて貰い湯をした場合「ごちそうさま」と礼を述べたものでした。銭湯が次々に姿を消してゆきます。銭湯は子どもたちの教育の場でもあったのに。いま街には風呂難民とも称すべき人々がひっそりと生活しています。今まで利用してきたのに誰のせいでもこんなことになったのか、こんな切実な疑問に行政は答えようとしません。テレビの温泉番組も風呂難民にとっては虚しいものにしか映りません。番組では「こんなに贅沢して2万円」こんな紹介もあります。放映向けの粉飾があり、実際のサービスは半分以下といわれます。風呂難民にとっては銭湯代だつて生活費を圧迫します。格差社会が広がり、年収200万円以下の人が1千万人を超す時代です。この現実こそマスコミは踏み込むべき使命があるはずなのに「こんな世相のせい」「スバリ言わよ」という番組があります。自称占師で、かつて暴力団とかかわりのあった太った老女性が登場し、若いタレントを怒鳴りつけたりが売ります。弱者に対しては説教を垂れるけれども、さまざまな難民を生みだしている問題の本質にはさっぱり踏み込まないのが特徴です。格差社会を生みだし、弱者には自己責任を押しつける政府の姿勢と重なって映ります。